

2 学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和8年1月15日 第83号
文責：江頭 俊輔

[凡事徹底!]

1月8日の3学期始業式の校長先生の話覚えていますか？凡事徹底という言葉に皮切りに、小さなことの積み重ねを大切に1年にしてほしいとお話がありました。今回は改めて、校長先生のお話について考えていきたいと思います。

さて、**凡事徹底**とは、『誰にでもできる当たり前のこと（凡事）を、他の誰にも真似できないほど徹底的にやり抜く』という意味で、イエローハットの創業者である鍵山秀三郎さんが提唱した言葉です。現在では、多くの企業をはじめ、教育現場や育成現場でも大切にされる考え方となっています。校長先生のお話の中にもありましたが、鍵山さんは28歳からずっと、毎日、「トイレ掃除」を行ってきました。あるインタビューで鍵山さんはトイレ掃除について、こう述べていました。

最初の**10年は独りて**掃除をし、手伝おうという社員もいなかった。**10年過ぎた頃から1人、2人が手伝おう**としてきた。**20年過ぎた頃には大方の社員が掃除をやるようになった**。上田真緒。“81歳創業者は、なぜトイレを素手で磨くのか” 東洋経済.2014/12/9. <https://toyokeizai.net/articles/-/54721>

凡事徹底のすごさと難しさがひしひしと伝わってきます。ただ、**みなさんもこの8年間はほぼ毎日掃除をしているはず**です。そう、学校の掃除時間です！みなさんの掃除と鍵山さんの掃除で違うのは、年数だけでしょうか？他にもなにか違いがあるのでしょうか？（ペアで話し合って、下に書いてみましょう！）

<私の予測！> 鍵山さんの掃除と私たちの掃除の違いとは！
違いはズバリ！→

[始まります！新掃除区域!]

さて、今日から新掃除区域での掃除が始まります。2年生にとっては、掃除区域は変わっていませんが、3年生から引き継ぎ、2年生が「掃除リーダー」として掃除に臨みます！**新宮東中学校が開校以来続けている異学年ブロック掃除を引き継ぐ立場になるということです**。自覚と責任をもって取り組んでほしいと思っています。大事なことは、前述の「凡事徹底」の通り、誰にも真似できないほど徹底的にやってみることです。実はみなさんできるでしょう？あとは、自信だけですよね。覚悟が自信となり、背中を押すでしょう。先ほど紹介したインタビューの中に鍵山さんの覚悟が見える部分があったので紹介します。

Q. よく続けられましたね。

鍵山：哲学者のショーペンハウエルがこう言っています。**物事が成功するまでには3段階ある**。第1段階は「**嘲笑される**」。なんだトイレ掃除なんかして、と。これが始まり。第2段階は「**反対される**」。誰もやれと言っていないのに抵抗するのです。その段階でバカバカしくなり、やめてしまう。こんなことやってしょうがないという気持ちになる。でも、そこを乗り越えれば、第3段階は、笑いものにしたり、反対したりしていた人がいつの間にか「**同調する**」。

他と違ったり、笑われたり、反対されたりすることが不安で、「自信がない、、、」と思っていませんか？逆です。その段階が必要なのだそうです、本当に成功するためには。まずは掃除から、やってみませんか？

校長先生のお話は、「コツコツ」が成功の鍵、小さいことを積み重ねようと締めくくられました。「どうせ無理」ではなく、「だったら、こうしてみたら？」と唱え、実際にやってみることが大切だと分かってきているはずです。あとは覚悟でしょう。大学時代に出会った語呂のいい言葉を紹介します。「コツコツが勝つコツ！」「為せば成る、為さねば成らぬ何事も。成らぬはあんたがせんけんたい！」頑張ろう、2年生！